

ようか。私たちが幼い頃の日光は東照宮、いろは坂、中禅寺湖などがたくさんのお客でにぎわい、又当時は日光の人口も多かったそうです。しかし、今の日光をこのように説明するとしたら少しとまどってしまふ点があると思うのです。今、日光は人口も観光客も減り昔の様なにぎわいは一年に何日も見られなくなつてしまつたのですから、私達が大人になるまでにこの日光を以前のにぎやかな観光地にもどしたい。私はそんな思いでこれからの日光「未来の日光」について考えてみました。

日光が観光客の目に止まらなくなつてしまつた原因は何でしょうか。年々観光客が少なくなつたという事は日光の魅力が低下しているという事だと思つてはいます。私はよく考えてみた結果一つの原因を思ひつきました。それはいつ日光に來ても大きな変化がないという事です。日光の自然は季節によつてさまざまに変わり他に類を見ない美しさであつても、それだけでは沢山の観光客を呼び寄せる大きな魅力にはならないのでしよう。今、どこの観光地でもその土地にあつた季節ごとの出し物を考え、観光客が楽しんでくれるよう色々な気配りをしていきます。ですから日光でも今までとは違つた変化をつけるため色々な工夫が必要なのではないでしょうか。

昨年度、未来の日光の絵の募集があり、私はそれにも応募し、遊園地がほしいと提案しました。でも、みなさんはそんなものをつくつたら日光の素晴らしい自然が破かいされてしまふと心配するかもしれません。でも私が考

えている遊園地は、都市にあるようなあんな大きな広場にあるものではなく、日光の特色を生かした自然の中に遊園地を造るのです。日光には沢山さるが居るのだから、自然の中を走る距離の長い「さるの電車」なんてつくつたらきつとみんなに喜ばれるでしよう。又、駅の名前も日光の名所の名前など付けたりすれば、楽しく遊びながら日光に付いて学んでもらえるのです。つりぼりや乗馬なども喜ばれるでしよう。都会の子供達が風景画を書くとしたらビルと車ばかりでしよう。夏休み

日光のすばらしさは 残していこう

小来川中二年

福田 有香

中学校2年最優秀



「私たち日光市民は旅行者を温かくむかへましよう。」

という市民憲章があるが、はたしてこれを守つている日光市民は、どれくらいいるだろうか。

こんな疑問を持ちはじめた私は、まず商店街の店員さんについて考えてみた。私が今まで好感を持っていたお店は、だいたいが古い

には父母同伴で写生会などどうでしよう。夜はキャンプファイヤーを囲んで日光の子供達との交歓会もできるでしよう。

「未来の日光」私の夢はどうなつていくでしよう。私たちみんなの夢が日光の町いっぴいに実現したらどんなにすばらしいでしよう。車で、きつと通り過ぎて行かれてしまふ日光にならないように、日光のすばらしさを十分に満きつしながら観光できるように未来の日光を、みんなの力で実現させなければならぬと思います。

造りの、店員さんがあまり若くない。そういうお店だった。

「どこから来たの。何年生。あつ、そこにすわると信号で周りが見えないよ。」

と、親しみのある言葉をかけてくれる。すると私は、母に注意されるようなほつとした気持ちでお店で買ひ物ができるのだ。

そうだ。日光にとつても足りないのは、旅行者に対する温かい心だ。日光には一日では絶対に見てまわれないといつていいほどの有名な場所がたくさんある。だから、一回だけでなく、何回でも来てほしい。それには旅行者に、

「また行きたいな。日光はどこも親切だし、いい所だから。」

と思わせなくてはならない。それには、客を迎える日光の人の温かい心が必要だと思ふ。

また、今の日光に足りないのは古めかしさだと思ふ。日光の伝統的なものがなくなつていくような気がする。近年、ビルは建ち、旅